

改善意見等に対する改善状況等報告書

大学名：宝塚大学

①AC対象学部等名

認可・届出の別	開設年度	学部名称等	学科名称等	専攻名称等
認可	H22	看護学部	看護学科	
届出	H22	造形芸術学部	想像力創造学科	

②改善意見等に対する改善状況及び改善計画

意見	現時点での状況	改善状況	今後の改善計画
7 既設学部等(東京メディア芸術学部メディア芸術学科)の定員充足率の平均0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 対応中	<p>○平成25年度に「コース」制から学生の意思で入学後でも自由に選択できる「領域制」を導入し、毎年僅かながら入学者数を増やしてきたが、平成28年度入学生は、入学定員の0.5にまで下がり、学部開設以来最少の入学者数となった。</p> <p>○平成26年10月に発足したブランディング小委員会では、主に学生募集の要となる広報活動面における見直しに取り組んでいる。さらに平成27年12月、外部業者にも依頼し、広報面での具体的な提案を受け、同小委員会の構成メンバーを拡大して、連日に渡り広報手段・方法・内容の再構築を進めている。</p> <p>○平成28年度はブランディング小委員会を学部長直轄の「学部運営企画委員会」に格上げし、各委員会の調整を行いながら問題点の改善に迅速に対応できる体制を整える。また、教育サポート及び教育環境面における学生満足度を向上させるための「3ヶ年計画」を策定し、常に教育現場の声を反映させながら進める。</p> <p>○学外連携活動や自習制作の場として、学生がいつでも使用できる「デザイン工房」、「映像工房を設置」、「大学院生研究室」を設置する。</p> <p>○高校生のニーズ動向を調査のため、専門業者によるマーケット調査の実施についても検討している。</p>	<p>学部の改善計画として、下記5点に注力し、学生確保に努める。また入学定員の見直しは平成29年度及び平成30年度の学生募集状況を踏まえて検討する。</p> <p>○教学の改革:体系的なカリキュラム運営・初年次教育の充実・学生への学修指導力向上とFD活動の推進(継続)のほか、領域(芸術教養領域(仮))の設置(平成29年度設置目標)検討。</p> <p>○学生支援:「キャリア・デザイン」科目新設(平成28年4月)・中退者対策(継続)・留学生支援係設置(平成28年4月)。</p> <p>○学生満足度向上策:学内教室・設備等の改修、学生ホール改修・大学院研究室設置・工房の設置(映像工房・デザイン工房)(平成28年5月完了)。</p> <p>○入試広報改善策:大学HP等のインターネット環境の充実(平成28年3月より実施中)。特別指定校・日本語学校指定校制度導入(平成28年6月)。</p> <p>○新委員会設置:学部長の諮問機関として教職員による、学部の将来構想・企画・運営を担う「学部運営企画委員会」を発足させる。</p> <p>また、併せて学部内に「IR推進委員会」の設置検討についても進めている。</p>